

東北地方 1か月予報

(8月24日から9月23日までの天候見通し)

平成14年8月23日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方の気温が低く日照時間の少ない状態は、2～3日で解消する見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

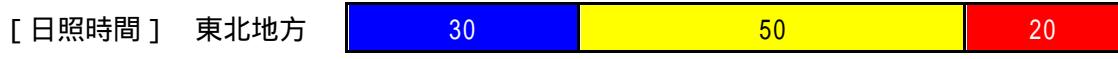
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月24日(土)～9月23日(月)

1週目 : 8月24日(土)～8月30日(金)

2週目 : 8月31日(土)～9月6日(金)

3～4週目 : 9月7日(土)～9月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は8月30日

3か月予報：9月24日(火)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	20.5	244.4	126.8	22.3	21.4	19.6
新庄	20.6	172.2	128.6	22.9	21.7	19.5
若松	21.5	142.3	147.6	23.9	22.8	20.4
深浦	20.3	183.8	165.3	22.3	21.3	19.4
青森	20.2	136.6	169.3	22.1	21.2	19.2
むつ	19.1	185.8	145.0	20.9	20.0	18.3
八戸	19.8	187.0	149.2	21.5	20.7	19.0
秋田	21.3	199.1	169.2	23.6	22.4	20.3
盛岡	19.8	187.9	129.8	22.2	20.9	18.7
宮古	19.8	238.8	130.9	21.6	20.6	18.9
酒田	21.9	205.9	166.1	24.0	22.9	20.8
山形	21.3	156.6	142.7	23.7	22.5	20.1
仙台	21.6	223.8	126.7	23.4	22.5	20.6
石巻	21.1	170.8	143.0	22.9	22.1	20.2
福島	22.2	176.8	124.3	24.4	23.4	21.1
白河	20.5	248.9	122.7	22.6	21.6	19.4
小名浜	22.3	200.6	154.1	23.8	23.2	21.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.4	85~115	94~106
東北日本海側	-0.6~+0.6	85~109	94~107
東北太平洋側	-0.4~+0.3	82~119	90~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.7	-0.8~+0.7	-0.4~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.8~+0.8	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.7~+0.8	-0.5~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年8月23日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月24日~9月23日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(8月24日~8月30日) :

明日(24日)から明後日(25日)は気圧の谷の影響で天気がくずれますが、その後は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(8月31日~9月6日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(9月7日~9月20日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

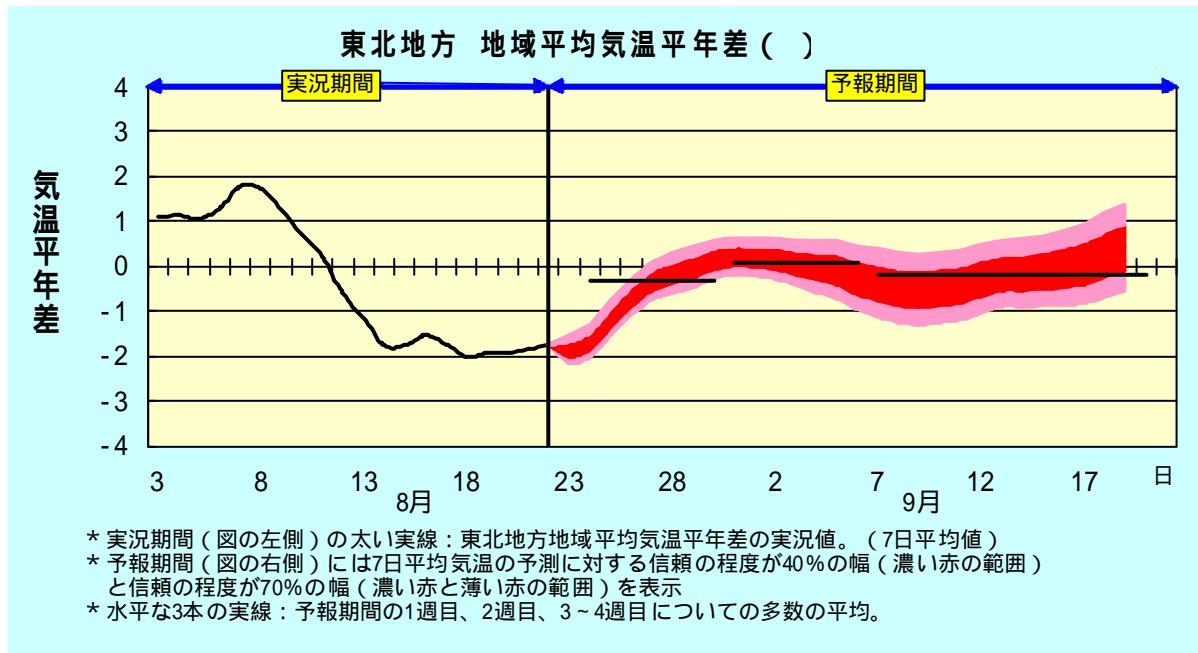
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.1日	4.0日	3.7日	6.4日
東北太平洋側	12.3日	3.5日	3.3日	5.5日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

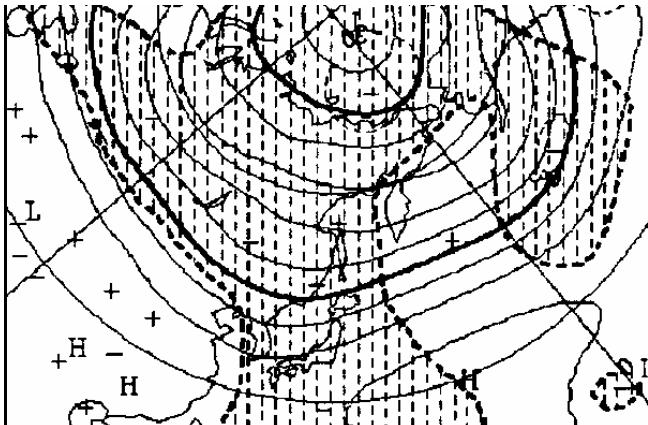
数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。

予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



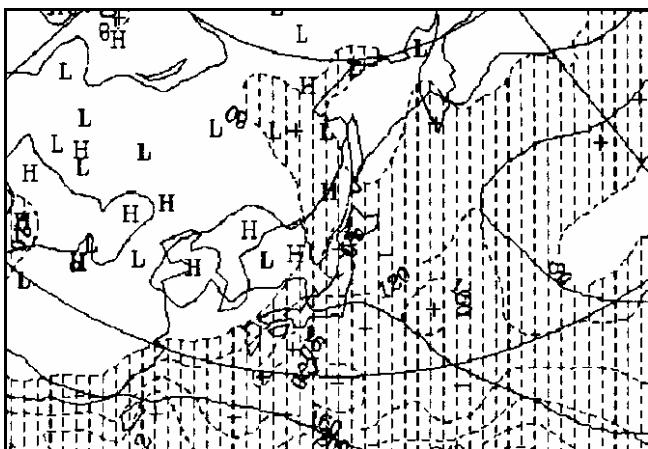
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は弱い西谷傾向で負偏差に覆われ、太平洋高気圧の西への張り出しが平年に比べ弱い。

週別（図略）では、1週目は日本の東海上が気圧の尾根、朝鮮半島付近が気圧の谷となり、東北南部以南は負偏差となる。2週目は日本海が弱い気圧の谷となり、日本付近は負偏差に覆われる。3~4週目も西谷傾向で日本付近は負偏差に覆われる。また、大陸が正偏差に変わり2週目に比べ寒気が入りやすくなる。



地上気圧と降水量

月平均で見ると、地上気圧はほぼ平年の分布。日本の南海上には太平洋高気圧の縁辺流に対応する降水域、日本海北部には気圧の谷に伴う降水域が予想される。

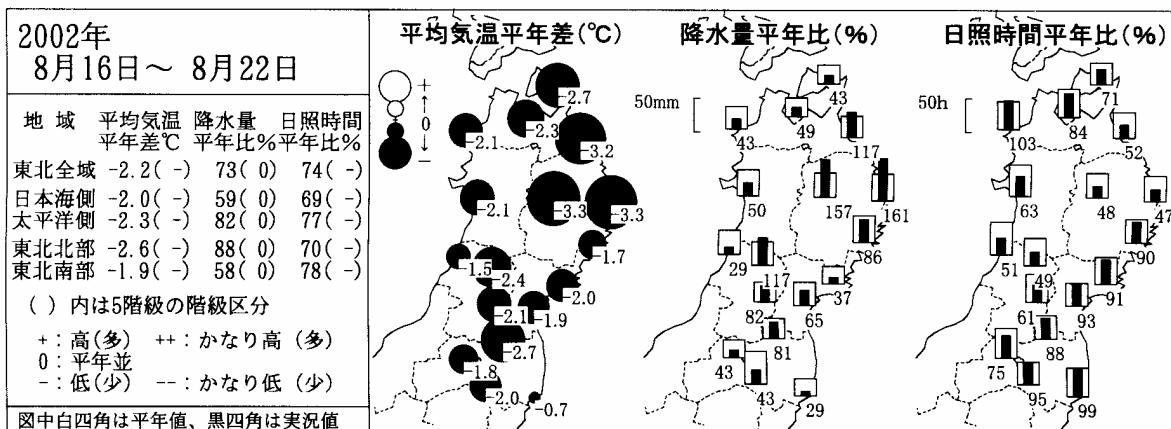
週別（図略）では、1週目はオホーツク海に高圧部が予想され、日本海北部に気圧の谷に伴う降水域が予想される。2週目は高気圧が北海道付近に張り出し、日本の南海上が低圧部となる。3~4週目の地上気圧はほぼ月平均と同様。本州の南岸には太平洋高気圧の縁辺流に対応する降水域が予想される。

4. 最近1週間（8月16日～8月22日）の天候の経過

前半は、前線や冷たく湿った東風の影響で曇りや雨の日が多くなった。19~20日に台風第13号が日本の東海上を北上した後は、大陸から寒気が南下してきたため、東北日本海側は曇りや雨となり、東北太平洋側はおおむね晴れた。また、各地で気温が低くなかった。

なお、19日に低温と日照不足に関する東北地方気象情報を発表した。

平均気温は、東北地方で平年差-2.2と低かった。降水量は、東北地方で平年比73%と平年並だった。日照時間は、東北地方で平年比74%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）